

原発がこわい女たちの会
http://blog.zaq.ne.jp/g-kowai-wakayama/

《 2012年06月 | トップ | 2012年08月 》

検索

2012年07月28日(土)

検索

7・16さようなら原発10万人集会に参加してきました

アーカイブ

- 会場:代々木公園
- 主催:さようなら原発一千万人署名市民の会
- 呼びかけ人:内橋克人 大江健三郎 落合恵子 鎌田慧
坂本龍一 澤地久枝 瀬戸内寂聴 辻井喬 鶴見俊輔

7月16日前後にいろんな集まりが計画されていた。私は、前日7月15日に
お茶の水駅の連合会館(元総評会館)で、「はんげんぱつ新聞」主催の**全国交
流集会での金子勝ミニ講演会**を聞きたくて、6時からの集会に参加した。
金子勝氏は「原発復活を止めるためのキーポイント」として「電力会社をど
うするかと云う問題を世論の真ん中に持ってくるべきだ」として、「**原発を廃炉
に出来ない理由は電力が不足するからではなく、その資産価値がゼロになる
と経営が破たんするという電力会社の経営問題だ**」と、とても精力的な語り口
から始まった。(後略)



講演中の金子勝氏(2012/7/15・連合会館にて)

講演後、金子氏は書籍を買った人にサインをしていた。私は岩波ブックレッ
ト『原発は不良債権である』500円を買ったが、「サインなんかいらさないよ、中身
だけでいいですよ」と金子さんの前で言ってしまった。だがすでにサインは入っ
ており、金子さんは私の名前を聞いてきたので、言うはめになった。
「松浦雅代さま恵存」と書いて貰ったので、私は『原発を拒み続けた和歌山の
記録』を贈呈しますと渡した。しかし金子さんはお金を払いますと言って1500円
払ってくれた。その後、金子さんと少しお話しをすることが出来たが、「毎日ツイ
ートを精力的に書いている」と言われた。私も見習いたいと思った。

7月16日(海の日) さようなら原発10万人集会会場に11時に着く計画で
娘夫婦の家を出た。(婿は留守番)原宿駅では何事もなく降りられて、スタッフ
もいてスムーズに駅の外に出られた。が少し進むと前になかなか動かない人
波。沿道には署名やカンパのお願い、チラシの配布と続いて、車上のライブ
(会場が広いので、宣伝カー2台が第3・第4のステージを兼ねていた)。
皆さんゆっくり、その後について前進するのみだった。やっとブースが並んでい
る所に到着。「藤波心ブース」があって心ちゃんも若い人に取り囲まれていた。

第2ステージでは、制服向上委員会のライブ。人が多くて隙間から覗くよう
に見ていたが、ライブが終わると前の方が隙きだした。この次は、スイシン
ジャ。かぶりつきの場所が空いていたので、そこに移動した。コンクリートの上
は暑い、沿道で貰ったチラシをお尻に敷いて、暑いのをがまんしてスイシン
ジャのライブを観た。
とても面白い。インターネット上でスイシンジャが登場したのはいつごろか定か
に覚えていないが、福島事故後、待ち望んでいたと云うか次の作品が見た
い集団である。かい人反原発男は右手、東電レッド、経産省ブルー、マスコミ
ホワイトこの3人そろって「絶対原子力戦隊スイシンジャ」、尾米タケル一座
である。小出裕章氏もこの前出演していた。

- 2016年11月(2)
- 2016年10月(1)
- 2016年09月(1)
- 2016年08月(2)
- 2016年07月(4)
- 2016年06月(2)
- 2016年05月(1)
- 2016年04月(3)
- 2016年03月(2)
- 2016年02月(3)
- 2016年01月(2)
- 2015年12月(4)
- 2015年11月(2)
- 2015年10月(1)
- 2015年09月(3)
- 2015年08月(3)
- 2015年07月(2)
- 2015年06月(2)
- 2015年05月(2)
- 2015年04月(2)
- 2015年03月(2)
- 2015年02月(2)
- 2015年01月(5)
- 2014年12月(3)
- 2014年11月(2)
- 2014年10月(2)
- 2014年09月(2)
- 2014年08月(1)
- 2014年07月(2)
- 2014年06月(1)
- 2014年05月(3)
- 2014年04月(4)
- 2014年03月(3)
- 2014年02月(1)
- 2014年01月(3)
- 2013年12月(4)
- 2013年11月(1)
- 2013年10月(3)
- 2013年09月(5)
- 2013年08月(1)
- 2013年07月(3)
- 2013年06月(5)
- 2013年05月(3)
- 2013年04月(2)
- 2013年03月(6)
- 2013年02月(2)
- 2013年01月(3)
- 2012年12月(2)
- 2012年11月(1)
- 2012年10月(2)

パレード参加・・・実は中止。初めてのこと
 田辺組が会場に1時くらいに着くと聞いていたので待っていると、ブルーの「脱原発わかやま」の旗が目についた。これがないと分からない。



帽子をかぶりリックを背負いの人ばかり。4人の記念写真を娘に撮ってもらい、パレードコースが違うのでそこで別れた。

13時30分～各パレード開始だったので、新宿パレードコースの方向に歩いて行ったが、まだ始まっていなくて、人があふれ出しそう。私と娘はそこから脱出することにした。瀬戸内寂聴さん90歳とは思えない若い声が届く。中島哲演さん、武藤類子さん等の発言が人混みの中でも聞きとることが出来た。

この時点で私はパレード参加をあきらめた。娘はその前から暑くてしんどい止めとこ、とやうに言っていた。炎天の中、日陰の木の下にみっちり座っていた無数の目。日陰のないメインステージは入りこむ余地なし、怒りのエネルギーが満ちていた集まりだった。それが今までの集まりと違う。



そして原宿駅に向かい歩いていると、明治公園パレードが始まっていた。直ぐ歩道橋から写真を撮った。この光景はほんとにダイナミックで素晴らしかった。デモを観るのも大切だなとこの時思った。参加者は自分の歩いている周辺しか分からないのだ。私たちは原宿駅で昼ご飯を食べようとしたが、売り切れ。昼食は4時になってしまった。

- 2012年09月 (2)
- 2012年08月 (2)
- 2012年07月 (4)
- 2012年06月 (4)
- 2012年05月 (3)
- 2012年04月 (1)
- 2012年03月 (1)

最新コメント

- [日韓の原発事情、国 by 民 守 正義(08/21)
- そもそも、我が和歌 by 清水俊幸(07/25)
- コメントありがとう by sora (12/05)
- 突然すみません。東京 by 里美(11/22)
- 10/26と11/29のチケット by 角谷(10/23)
- starさんコメントあり by sora (09/14)
- このブログを読むまで by star(09/13)
- こんにちは。メッセ by わんこ(04/15)
- 現在稼働している大飯 by star(04/09)
- 廃炉産業を起こしてほ by kaziharayosiyuki(03/14)

カレンダー

< 2012年07月 >

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

最新記事

- 琵琶湖が危ない 老朽原発美浜3号も廃炉に！ 11・13 琵琶湖集会(11/15)
- 汐見文隆先生、ありがとうございました(11/08)
- 原発がこわい女たちの会 ニュース99号発行(10/12)
- 高速増殖炉もんじゅ廃炉へ(09/27)
- 老朽原発・美浜3号機は廃炉に！ パブコメを出そう(08/28)
- ピースボートで韓国古里(コリ)原発を見学してきました(08/21)
- 熊本地震の経験から原発の耐震性見直しを要求し、25団体で共同声明を出しました(07/22)
- 老朽原発・関西広域連合へ要望書と和歌山県との話し合い(07/17)
- 原発のない社会を投票で示そう！(07/05)



原宿駅近く、演奏する若者たち

(松浦雅代 記)

原発がこわい女たちの会
ニュース98号発行(07/04)

SCHEDULER

ナビゲーション

トップ

RSS

ID:

PASS:

サイト管理者

[ログイン](#)

SSLモードでログイン

BLOGariは2017年1月末
サービス終了します

2012-07-28 | [記事へ](#) | [コメント\(0\)](#)

2012年07月22日(日)

振津かつみさん《フクシマとチェルノブイリの被ばくを考える》講演会

「脱原発わかやま」の総会が7月14日、田辺市において開催され、振津かつみさんを講師に招いた。この公開講演会には、会員及び市民あわせて約60名が参加し、聞き入った。

振津かつみさんは内科の臨床医として大阪で原爆被爆者の健康管理に関わり、チェルノブイリ支援活動(チェルノブイリ・ヒバクシャ救援関西)に長らく携わってこられた方で、3.11事故直後から福島にも足しげく通って医療相談等に応じておられる。

専門家として原発が健康におよぼす問題の大きさを熟知しながら、今回のような事故の被害を止められなかった悔しさ、を最初に語られた。因みに和歌山にも学生時代、原発立地計画段階から反対運動に入ったとのこと。フロアの参加者には顔なじみもおられるようだった。

被ばくと健康管理の最前線に立つての豊富な医学的知識と経験に裏打ちされたお話は、尽きることなく湧き出てくるようで時間が足りないほどだったが、以下そのポイントをあげておく。

○ (事故以前から)原発は多くの人の犠牲の上に成り立っていること。危険な作業を強いられる原発労働者、燃料ウラン採掘現場のアメリカ先住民、濃縮ウラン製造過程の排出物からつくられた劣化ウラン弾に曝されたイラクの子どもたちなど、差別と抑圧の問題は看過できない。私たちの快適な生活は誰かの犠牲を前提にしたものであることへの疑問は根深い。

○ いまなお汚染地住民600万人のいるチェルノブイリに比し、人口密度の高い東日本では「放射線管理区域」に相当するレベルの汚染地に400万人が居住する。両者の汚染規模は人口レベルで並ぶものといつてよい。

○ 今回の事故については、加害者がいて、被害がある。何ミリシーベルト云々の技術的問題以前の話として、国、東電は加害者としての責任を取らなければならない。

○ 対策と補償の試みとしては、将来起りうる健康被害に対し検診と医療費無料化などを保証する「健康手帳」の配布、被ばく低減のため汚染地外での「保養」、などが重要である。

○ 教育現場で用いられる放射線副読本(文科省、2011年10月)は、きわめて不十分な内容。チェルノブイリもフクシマも一言もふれず、行政や先生のいうことを聞きましょう、ということ。7月末に文科省と交渉の予定で署名活動中。

○ 除染は「移染」かもしれないが、人が住む限りは、何度でも、やらなければならない。しかし、実施にあたっては仮置き場も確保されず、技術上経済上の問題を抱え、近隣トラブルも起こしやすく地域社会や家族のコミュニティ破壊につながっている。

○ 放射線被害は、過大評価も過小評価も誤りである。「100ミリシーベルト以下では明らかなガンの増加はみられない」「ただちに健康上問題ないレベル」など、影響がないという論者は、被ばくの健康リスクにしきい値はないという定説を知らないはずはない。

○ 過大評価では、映画チェルノブイリ・ハートで語られた「健常児は20%にすぎない」、というのは真実ではない。これは健常の基準が日本と異なっているため。

脱原発わかやま

原発はいらないとねがい運動する和歌山県下の個人と団体の連合体で、1989年に結成された。団体は和歌山市を中心とする「原発がこわい女たちの会」のほか、田辺市「つづくさと大地の会」、新宮市「やめよら原発NO核熊野の会」の3グループ。

(sora 記)

2012-07-22 | 記事へ | コメント(0)

2012年07月16日(月)

大飯原発運転差し止め裁判 第3回審尋で大阪地裁に行きました

関西電力大飯原子力発電所3号機、4号機運転差し止め仮処分命令申立に和歌山県からは「脱原発わかやま」の関係者6名が原告として参加していますが、松浦はそのうちの1人です。

5月にあった第2回審尋には参加できなかったのですが、関西電力は、安全設計審査指針はなくても「生(なま)の安全性」がある、と言ったそうです。「関電が安全だと言えばそれで安全だ」の暴論です。

7月9日(月)には第3回審尋があり、大阪地方裁判所に行って来ました。折角行ったのに20分で終了してしまいあつげなかったのですが、円形テーブルを囲んで進めるのも初めての経験です。関電弁護士は「断層についての反論は8月末までかかる」と発言。これに対して裁判長は、「破碎帯の問題は設置のときの問題ですから(すぐに出せるはず)」と、的確な指摘や質問をしていました。次回がたのしみです。今回は8月13日、これで結審となります。(松浦雅代)

■審尋前の12:00~13:00、大阪地裁前でアピール行動をしました。駆けつけた50名で「地震が危ない」「調査が必要」「福井を守ろう」など、そして、司法への応援「がんばれ司法」をコールしました。

■この日の様子および大飯原発運転差し止め裁判についての詳細は以下のサイトにあります。

http://www.jca.apc.org/mihama/ooisaiban/ooisaiban_room.htm

■3月12日の仮処分提訴のときの原告団声明文を掲げておきます。

<大飯原発3・4号運転差止の仮処分提訴にあたって>

福島第一原発事故から1年が経ったいま、私たちは改めてその被害の深刻さ重大さを見つめ直し、二度と再びこのような事故を起こしてはならないとの強い決意を固めています。他方、政府と関西電力は大飯原発3・4号を運転再開させようと、さまざまな画策を強引に進めています。

そのため私たちは3月12日に、大飯原発3・4号の運転差止の仮処分命令申立を、関西電力本店のある大阪の大阪地方裁判所に提訴しました。

原告は、福井県と関西の全府県及び岐阜県から短期間に259名が集まり、提訴後に集会を開き原告団を結成しました。原告の代理人として5名の弁護士を立てています。

原告団集会では、福井、滋賀、京都北部、京都市、奈良、大阪、和歌山、兵庫及び岐阜の各地から、原告が自らの運動を踏まえた熱い決意を語りました。今後、地元了解を阻止するための活動を各地域でいっそう強め連携を密にし、また、弁護士と共同して争点を明確にしていきます。大飯原発3・4号を何としても動かしてはならないという決意で裁判に取り組みます。全国のみなさんのご支援をよろしくお願ひします。大飯原発3・4号の運転再開を止めるため、いっそう固く手をたずさえて前進していきましょう。

2012年3月12日

大飯原発3・4号運転差し止め裁判 原告団
共同代表 アイリーン・美緒子・スミス／小山 英之

2012-07-16 | 記事へ | コメント(0)

2012年07月05日(木)

被ばくを考える講演会のお知らせ

大飯原発3号機が7月1日再起動されました。
日本中の全原発が停止したのはおよそ2ヶ月。
再稼動に反対して、地元関西だけでなく全国的に運動が大きくなっています。

福島第1原発事故の収束宣言は早々に出たけど、
事故の原因究明は済んだの？
空気中や地下水、放射能汚染はもう大丈夫？
被災者には生活安定の見通しが立ったの？
大飯原発再稼動が決まったけど、
もしもの事故のとき、周辺住民はどうすればいいの？琵琶湖の水は？
原発敷地内で活断層の存在が疑われているけど？

などなど、他にも沢山の「？」があるが*、全て打棄られ、
事故の収束からはほど遠いまま、フクシマから何らまなぶこともなく
政府は新しい「安全神話」を唱えるのみです。
計画停電になったら、電気が使えなくなったら、という恫喝をかけながら。

* 前のブログにいただいたstarさんのコメントも、大きな「？」です。
……(原発から出る放射性廃棄物を)仮に、地中に埋めて処理するとしても
10万年間もの間、安全に保管できるとはとても思えない。
この先、何千世代先の人々に重いツケを負わせることになる原発は、
やっぱり今すぐ止めないとだめだと思う。(by star)

私たちは、原発廃止に向けて、やれることを続けていきます。これからも、息ながく。

■さて、2つの講演会のお知らせです。

その1 フクシマとチェルノブイリの被ばくを考える

講師： 振津かつみ 氏
日時： 7月14日(土) 14:00~16:00(予定)
会場： 田辺市民総合センター 4階交流ホール
(田辺市高雄1~23~1 電話0739-26-4900)
参加費： 無料
主催： 脱原発わかやま
(連絡先) 和歌山市／松浦(073-451-5960)
田辺市／寺井(0739-25-5586)

講師(ふりつ・かつみ) プロフィール
内科臨床医として、大阪在住の原爆被爆者の健康管理に携わる中で、放射線の健康影響について学ぶ。現在、兵庫医科大学・遺伝学(非常勤講師)。1991年に「チェルノブイリ・ヒバクシャ救援関西」を発足し、毎年ベラルーシのチェルノブイリ被災地を訪問。世界のヒバクシャ問題にも関心を寄せ、核実験被害者、ウラン採掘による被害を受けた米国先住民などとも交流。2004年から「ウラン兵器禁止を求める国際連合」(ICBUW)運営委員。

振津さんは、ベラルーシなどでの支援活動を通じて、放射線が人体に及ぼす影響を20年あまりみてこられました。また、福島事故後、現地へ入られ支援活動に取り組まれています。そうしたご経験から、両者の違いや共通点、あるいはフクシマの現状についてお話しして下さい。ガンや白血病などにかかる危険性など、私たちの不安に対しても、医学的見地からお話しして頂けると思います。

どなたでも参加できますので、どうぞお越し下さい。
* チラシはこちら→

その2 放射能と食品汚染

* 原発がこわい女たちの会も協賛団体になっています

講師： 安田 節子 氏
日時： 7月29日(日) 13:30~16:00
会場： あいあいセンター3階 第3・4会議室
(和歌山市小人町29番地)
参加費： 500円(当日、受付にてお支払いください。)

主催:子どもたちの未来と被ばくを考える会
事務所 和歌山市三番丁 6 関西電ビル 4 階
金原法律事務所内
連絡先 073-451-5960(松浦)
協賛団体:にんにこ被災者支援ネットワーク・和歌山
上岩出診療所 / 原発がこわい女たちの会
(順不同・6/28 現在)

↓からもどうぞ。

<http://kodomomiraikibou2012.seesaa.net/article/277640326.html>

2012-07-05 | [記事へ](#) | [コメント\(0\)](#)

